

「企画」 インタビューコーナー 第6回

～男女共同参画社会の実現を目指し活躍する人たち～

安中市長 茂木英子さんに聞く

インタビューコーナーでは、「男女共同参画の実現を目指し、さまざまな立場で活躍している人」を紹介しています。



群馬県で初の女性市長の誕生です
責任の重さを日々感じています。私が市長になったことが、女性が頑張れる社会への良いきっかけになってくればと思っています。

同じ仕事をするのでも、工夫をすることによって、女性も男性と変わらずに仕事ができます。場合によっては、女性の方が忍耐力があって、男性よりできることがあるかもしれません。

市長が目指す「男女共同参画社会」とは



社会は男性と女性の共同体です。男女共同参画社会が目指すものは、男性も女性も共に社会を作り上げている一員だという意識をひとりひとりが持つことだと思います。

今まで作られてきた社会システムは、いすの大きさやつり皮の高さなど、すべてが成人男性を基準に考えられてきました。しかし、システムを工夫することで、同じだけの仕事ができるのではないのでしょうか。

男女共同参画を目指して

「性差を踏まえたシステムを作る」ということが大切だと考えます。たとえば、30キロのお米を運ぶことが仕事だったとします。男性の方が仕事ができると通常考えられますが、15キロの袋を作れば女性も運べま

女性としての強みを持って

女性としての目線で物事を見られる、捉えられる、また考えられることは強みではないのでしょうか。従来この社会システムを女性の目線によって変えることが、おそらくすべての人にとって優しい、使いやすいものになっていくでしょう。そのためにも、女性が活躍できる場をなるべく作りたいと思っています。



●安政遠足（侍マラソン）開会式
～新島八重の衣装で



●女性が一步踏み出すための道筋をつけたり、頑張る姿を示すことも私の仕事

女性に向けてのエール

女性として持つ能力をもっと発揮し、色々な事に積極的に関わってほしいと思います。自信を持って、一歩前に踏み出してほしいですね。変わりたい、変えていきたいと思っている女性は多いはずですが、できることから踏み出してもらえたら、今以上に暮らしやすい社会に変えていけると思います。何事にもチャレンジすることで自分自身も成長できます。自分の身近なところから取り組んでいきましょう。



セミナー報告

子育てを一緒に楽しもう！

●平成26年6月1日（日）手形づくり教室を開催！

6月1日（日）に家族みんなで子育てを楽しんでもらおうと、子育て支援ボランティアグループ「玉村町・和い輪いネットワーク」とともに「手形づくり教室」を開催しました。

生後6カ月から3歳までのお子さんとその家族19組53人が参加しました。手形、足形がうまくとれないお子さんに苦心しながらも、赤、黄、青の色のついた粘土で星や動物をかたどって飾りつけ、思い思いの成長の記録を作りました。



県新規採用職員に男女共同参画について講義

●平成26年5月13日（月）県新規採用職員研修

講師：大森 昭生 教授（共愛学園前橋国際大学 副学長
・ぐんま男女共同参画センターアドバイザー）



平成26年度の群馬県新規採用職員139名を対象に、「男女共同参画」に関する研修を自治研修センター（前橋市大渡町）で実施しました。

男女共同参画社会づくりは、県職員として行政に携わるに当たり、全ての職員が理解しておかなければならない行政課題です。県では平成16年度から、新規採用職員を対象に研修を行っています。

当日は、当センターアドバイザーの大森昭生教授を講師に迎え、男女共同参画社会に関する基礎知識のほか、性別役割分業意識の変遷と現実、分業意識がもたらす諸問題、男女共同参画の視点での職場環境の整備などについて、ご自身の体験も交えながら、分かりやすくご講義いただきました。

男女共同参画に関係のない部署は一つもありません。県では引き続き、男女共同参画社会づくりに向けた意識啓発に取り組んでいきます。



父と子のバルーンアート教室

ぐんまのイクメン養成塾

参加者募集

ミニ講演「イクメンのコツ」(約30分)も開催します



【日時】平成26年7月26日（土）
午後1:00～3:00

【場所】ぐんま男女共同参画センター

【講師】吉田大樹さん（NPO法人ファザーリング・ジャパン代表理事）

【対象】県内在住の3歳～未就学児のお子さんとパパ

【定員】20家族（抽選）

※申込期限 7月11日（金）必着

【費用】無料

・申込方法：電話、FAX、メールにより
①ご住所②お子さんとパパの名前③お子さんとパパの年齢④電話番号をお知らせください。

・申込先：当センターまで。

主催：ぐんま男女共同参画センター・群馬県労働政策課